

# おぢや市議会 だより

NO. 105

令和 4. 7. 25

編集発行  
小千谷市議会

☎ 83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



投稿者：田中勝徳さん 撮影場所：真人町若栃  
タイトル「立葵」梅雨が早く明けたので、まだ先端まで開いていませんが、季節は毎年訪れます。自然に感謝。

- 第2回定例会議決結果… P2
- 常任委員会報告…………… P3
- 一般質問…………… P4
- 議会日誌 …………… P11
- 雪あかり、編集後記 … P12

—主な掲載内容—

## 第 2 回 定 例 会 議 決 結 果 (6月3日から6月24日まで開催)

議案番号等		議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第35号	小千谷市税条例及び小千谷市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
予 算	議案第36号	令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)について	〃	〃
その他	議案第28号	専決処分について(令和3年度小千谷市一般会計補正予算(第14号))	〃	承認
	議案第29号	専決処分について(小千谷市税条例の一部を改正する条例)	〃	〃
	議案第30号	専決処分について(小千谷市都市計画税条例の一部を改正する条例)	〃	〃
	議案第31号	専決処分について(小千谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	〃	〃
	議案第32号	専決処分について(小千谷市介護保険条例の一部を改正する条例)	〃	〃
	議案第33号	専決処分について(令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第1号))	〃	〃
	議案第34号	専決処分について(令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第2号))	〃	〃
	議案第37号	契約の締結について	〃	原案可決
	議案第38号	財産の取得について	〃	〃
	議案第39号	小千谷市監査委員の選任について(小杉正一氏)	〃	同意
議案第40号	人権擁護委員候補者の推薦について(関昌子氏)	〃	〃	
発 議	発議案第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	〃	原案可決
請 願	請願第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	みなし	採 択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

### 議員永年表彰者

#### 全国市議会議長会

15年表彰

田 中 淳  
山 賀 一 雄

#### 北信越市議会議長会

15年表彰

田 中 淳  
山 賀 一 雄



# 常任委員会報告

## 総務文教委員会

委員長 森本 恵理子

本委員会に付託されました議案第35号、36号及び請願第2号の以上3件につきまして慎重に審査した結果、原案のとおり可決、また採択すべきものと決しました。

### 委員会での主な質疑・意見

○議案第35号 小千谷市税条例及び小千谷市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

主たる質疑として

・DV被害者対応の住所に代わる事項について

○議案第36号 令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)について

主たる質疑として

・特定空家の状況と今後の対応について

・片貝総合センター空調工事の内容について

・診療所開設支援事業補助金の内容について

・新事業チャレンジサポート補助金の事業対象及び採択条件について

・テレワークステーションおぢや整備に伴う内容について

・消防署空調設備の内容について

・総合体育館及び市民プールのLED化に伴う光熱費の削減効果について

・学校における給食費補助の内容及び今後の給食費上昇の見込みと対応について

主たる意見として

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の執行残について、諸物価高騰を見込んで早めの対応をすべき。

・修学旅行の保険料について、保護者に負担が発生しないように検討が必要。

・学校給食費について、既に値上げを行った学校に対し、補助金を利用し保護者の負担軽減を。

○請願第2号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1

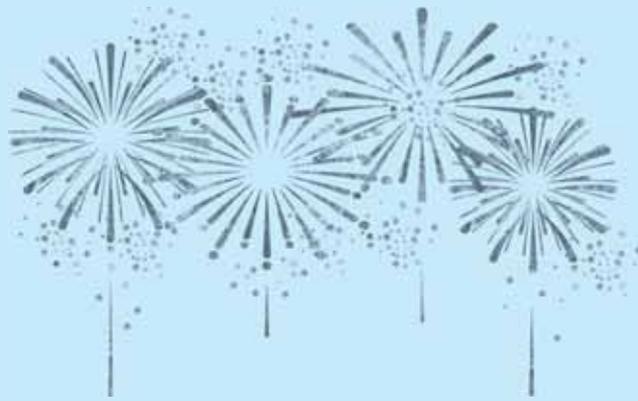
復元に係る意見書の採択を求める  
請願について

主たる質疑として

・学級編成基準の弾力的運用について

・加配の教員について

・この請願に関する国の動きについて



### お詫びと訂正

前号104号の民生産業委員会報告で議案第18号の「均等割額」とすべきところを「所得割額」と記載しました。訂正してお詫び申し上げます。

## 市議会を傍聴してみませんか

### 第3回定例会開催予定

8月29日(月)	第1日	議案上程説明
8月30日(火)~9月2日(金)		各常任委員会で審査
9月15日(木)	第2日	一般質問
9月16日(金)	予備日	一般質問 (質問者が多い場合に開催)
9月21日(水)	最終日	委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(Tel.83-3505)へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

# 市政の内容を聞く

## 一般質問

平澤 智 議員



人材育成リーダー養成事業について

**質問** 事業概要の推進状況は。

**教育長答弁** 「人材育成事業研修プログラム検討会」を開催。参加される方、派遣する企業の方が参加させたくなるような魅力的なプログラムを検討している。

**質問** 対象とする範囲について。

**教育長答弁** 市内企業に勤務する40歳位までを対象。

**質問** 期待される成果は。

**教育長答弁** コミュニケーション能力を高めたり、講義や演習を通じてリーダーシップを培ったり、異業種交流を通じ人的ネットワークを高め、地域のリーダーとして活躍されることを期待している。

西脇順三郎賞について

**質問** 募集の趣旨について。

**教育長答弁** 当市の名誉市民である西脇順三郎の遺徳を末永く後世に伝えるとともに、現代の詩人の

称揚と次世代発掘、市内小中学校児童・生徒が偉人と文学に関心を抱く契機となることを願う。

**質問** 学校現場での取り組みは。

**教育長答弁** これまでも西脇順三郎を偲ぶ会と連携し、西脇順三郎とその詩について学ぶ機会を提供してきた。小学3年生と中学1年生は授業で西脇順三郎を学び作詩をする時間を設けることとした。

**質問** 賞金規模の妥当性について

**教育長答弁** 他の文学賞との状況を見ながら実行委員会で協議をして決定した。

**質問** 継続にあたっての構想は。

**教育長答弁** 選考委員として現代詩界の第一線で活躍され、西脇順三郎の詩に造詣の深い詩人、研究者を選定することができたことで賞の権威がより一層高まったものと考えられる。全国的にも注目を集めはじめたことにより、今後、賞の継続につながっていくものと考えている。資料や絵画等の展示品の継承については重要であるため、新図書館等複合施設内の「知」のアンカー内に専用スペースを設け、来館者に学んでいただくことを検討している。

駒井 和彦 議員



ゴミの不法投棄について

**質問** 現状認識、対策、更に今後の対応強化策について。

**答弁** 不法投棄はパトロール強化等々で減少傾向、今後も関係機関と連携し、意識啓発に努める。

**質問** ごみのポイ捨て禁止条例等々について。

**答弁** 条例を提案する気はない。

ゴミ箱、灰皿、監視カメラの設置も考えていない。

公園の整備等について

**質問** 旧健康センター跡地を象徴的な公園にしては。

**答弁** 現在立地している法人と協議を重ね、方向性を検討していく。

**質問** 老朽化した都市公園の今後の整備について。

**答弁** 計画的に改修を図っていく。

観光振興等について

**質問** 山本山の鉄杭撤去について。

**答弁** 管理上必要な物は存置し、不要な物は撤去している。木杭は

県に要望している。

**質問** 現図書館の今後について。

**教育長答弁** 未耐震で取壊予定。

**質問** 山頂駐車場に新たなキャンパスサイトを設置してはどうか。

**答弁** 考えていない。

**質問** 白山運動公園内の老朽化休憩施設等の修繕等対応について。

**教育長答弁** 既に撤去及び今後撤去する。

**質問** 当市の今後の観光振興策は。

**答弁** 行政は主役でない。関係団体等を支援していく。小千谷駅を起点として、誘客活動を支援する。

**質問** 小千谷駅外部トイレ閉鎖について。

**答弁** 引き続きJR東日本と、継続を前提に協議していく。独自でトイレを造る考えはない。観光協会の駅構内への移設については、協会で検討すべきで、その結果、必要に応じ対応する。協会内部での検討はないと聞いている。

市民協働のまちづくりについて

**質問** 市民協働条例制定について。

**答弁** 市民の理解が浸透していない。コロナ禍で市民生活が戻っていない現状で、市民感覚と合致せず、現状、制定の提案はしない。

## 大矢 弘光 議員



再開するまつり行事について

**質問** 行事開催における消極的傾向、縮小傾向をどう考えているか。

**答弁** コミュニティ活動の維持、

また、伝統技術や文化伝承が途絶えかねない事態であると危惧している。おぢやまつり、片貝まつりの開催決定は、今後、様々な行事の開催可否に影響を及ぼすと考える。先行開催するおぢやまつりにおいて、安心安全かつ、楽しいまつりとして運営し、行事再開の気運が高まるものと期待している。

**質問** 市民にとっておぢやまつりは、どのような行事であるべきか。

**答弁** まつりは準備段階が大切である。と捉えている。いかに大勢の方々が準備段階から参加し、当日の行事を一緒に体験することは、まちづくり、地域づくりの基本であり、地域に対する誇りや愛着形成の場である。

**質問** 四尺玉の位置付け、片貝まつりへのより積極的な行政の関わりについて。

**答弁** 四尺玉は来訪者呼び込む要素であり、数十万人の人々にぎわい、当市にとっても大きな経済効果をもたらしていると認識。実行委員会に参画し、シャトルバスの運行及び関連警備体制、交通規制体制への支援に加え、露店商出店に伴う対応及び経費負担など、今後、継続的に協議する主体、組織を相互に明確にしていく中で、より効果的、効率的な取り組みが可能となるよう努めていく。

### 各種補助金の扱いについて

**質問** 国や県から示されている補助事業について、市民が包括的に確認、閲覧できる方法はないか。

**答弁** 国や県からの補助事業の内容は膨大な量があり、また頻繁に改正等が行われていることなど、当市において活用が見込まれない事業が多数であることを考慮すると、常に最新の情報を市が管理・更新することは非効率である。当市の関係部署に気兼ねなくご相談いただき、活用できる補助事業を調査することが現実的と考える。

## 佐藤 隆一 議員



道路パトロールについて

**質問** 令和4年2月15日の早朝、小栗田区内で、1時間ほどの間に連続した事故が起きています。特殊な事例なのでしょうか。

**答弁** 昨年末の12月に臨時の修理を行った道路でした。降雪のために陥没箇所が見えなかったため事故に至ったものです。

**質問** 私も何回か通報していましたが、ドライバーからの情報が最も有効です。道路パトロールの現状についてお聞きします。

**答弁** 郵便局などにも協力を求めています。町内会長会議でも協力を求めます。

### CO<sub>2</sub>実排出「0」の取り組みについて

題意識で参加したのでしょうか。  
**答弁** CO<sub>2</sub>排出の現状は、環境省のHPの通りです。市内のCO<sub>2</sub>排出先の実態を詳しく調査するため、委託先を選定中です。

**質問** 佐渡市は、脱炭素先行地域に指定され、70億円を投じて、新庁舎などに太陽光パネルを設置する(400kW)取り組みを進めています。環境省が選定する「脱炭素先行地域」に応募しないのでしょうか？

**答弁** 小千谷市は応募しません。

**質問** エネルギービジョンを作り、錦鯉の里へ再生可能エネルギーを導入する取り組みを積極的に進めています。小千谷市は、努力目標として求められているものであり、義務ではありません。

### ゴミ処理について

**質問** 燃やして埋め立てるゴミ処理からリサイクルへ転換する考えはありませんか。

**答弁** 現段階でそうした考えはありません。



再エネの活用

## 市政の内容を聞く

# 一般質問

住安 康一 議員



**3歳児検診の屈折検査の導入**

**質問** 3歳児検診において、視覚異常の検出精度を向上させるため、問診や診察に加えてフォトスクリナー等の検査機器を用いた屈折検査の導入を提案するが見解は。

**答弁** 導入に向けた準備を進める。コロナウイルス感染症の後遺症に関する情報発信の考え方を伺う。

**質問** コロナウイルス感染症の後遺症に関する情報発信の考え方を伺う。

**答弁** 今後の国や県の対応方針により、市民の安心につながる情報等が確認でき次第、積極的に発信する。現在、市内には後遺症等に関する専門外来を設置している医療機関はないが、小千谷総合病院やかかりつけの診療所等での受診や相談により、症状によっては専門医療機関を紹介し、適切な診療につなげている。これらの情報は、市のホームページでお知らせする。

**物価高騰対策**

**質問** 学校給食費補助金として補

正予算を組んだ。4月より給食費の値上げをすでに実施したところがあるが、値上げを実施した学校への支援が必要では。

**教育長答弁** 4月からの給食費を

対象に一人年間2000円を補助する。これにより今年度値上げを実施した学校においても、年度末における給食費精算時において、実質値上げをしない扱いとなることを想定している。

**質問** 保育園や認定こども園の給食費の値上げや支援について。

**答弁** 予算に不足が生じるような事態となった場合においても、保護者の負担増とならないような対応策を検討する。認定こども園については値上げや支援に関する要望等は聞いていない。

**認知症早期発見のための施策**

**質問** 認知症の早期発見に認知症チェックリストの作成と利用の推進をすべきでは。

**答弁** 「オレンジガイド」に『家族がつくった「認知症」早期発見のめやす』を掲載。良いチェックリストであることから、今後、市のホームページに掲載し、市民に紹介する。

上村 行雄 議員



**ガス・水道料金の動向について**

**質問** ガス事業における今後のLNG価格の予測と現状での運営維持はいつ頃まで可能なのか。また料金改定はあるのか。

**答弁** 当市は3月検針分において、原料費調整額の算定に用いる平均原料価格が上限額を超えたため上限額で算定しており、7月検針分まで上限額で原料費調整を行うこととなります。お客様から頂く料金には上限額がありますが、原料調達先に支払う購入単価には上限額が無く原料費の高騰を料金に転嫁出来ず経営が圧迫され継続が見通せない状況になることが見込まれるため上限額の取扱に慎重かつスピーディーに検討を進める。

**質問** 水道料金が県内で一番高いと報道された事実を把握しているのか。また信憑性はあるのか。

**答弁** 本年4月26日にテレビ番組で放送されたものであり動画サイト

トで確認している。推計結果は一定の前提を置いて示されたもので、一つとして平成28年度から平成30年度での建設改良費の平均額を起點に推計されている。その期間は新浄水場の建設事業を実施しており、その改良事業が継続することが前提で出された推計料金は当市の実態とかけ離れたものです。

**教育DXについて**

**質問** 端末を使った学習としてどのような授業が行われ、またその成果の判断と課題はあるのか。

**教育長答弁** 全ての学校において、端末を活用し、調べたいときに探求する調べ学習、基礎基本の定着を図るドリル学習、学校間をオンラインで繋ぎ交流を図る学習などに活用している。また、効果的な活用には教員の活用能力のさらなる育成が課題である。

**質問** いじめの把握や不登校への対応など、端末上での相談対応は。

**教育長答弁** 悩みを気軽に相談できる手段としては有用と考えるが、最終的には子どもの心に寄り添った対面による相談が大切であり、様々な相談体制を活かし、いじめの早期解決と不登校対策に取り組む。

## 長谷川 有理 議員



### 図書館を核とした複合施設

**質問** 建設費30億1500万円だが、建設後ランニングコストは。

**答弁** 温水プール計画時と同じ年1億3千万円想定。実施設計を踏まえ詳細について精査していく。

**質問** 6月末に実施設計が出るはず。市民に早急な公表が必要では。

**答弁** ランニングコストは人員配置にもよる。算定が出来れば公表。

**質問** 新施設の想定利用人数は。

**教育長答弁** 年間16万8千人。

**質問** 新施設稼働で周辺商店街の新規起業・創業数の想定は。

**答弁** 令和6年までに累計15件。

**質問** 新施設は市街地在住に限らず全てのこども達に開かれるべき。公平なアクセス保障の工夫は。

**教育長答弁** 各学校と連携し検討。

**自治体DXの進捗について**

**質問** 市内公衆Wi-Fiは他市に比べ防災・観光分野など著しく設置数が少なく、SSIDもあまり公

開していない。他自治体は公民館を含む避難所に公衆Wi-Fiを導入している。改善を図るべきでは。

**答弁** 状況を鑑み増加を検討。

**質問** やっと学校現場に導入された校務支援ソフトC4thだが1台しかない共有パソコンでのメールなどまだ不便が。利便性向上を。

**教育長答弁** 連絡手段の統一は今後ルール化する中で進めていく。

**原油価格・物価高騰対応について**

**質問** 燃料費、肥料など農業資材

**高騰による農業者への経営支援を。**

**答弁** 国・県の動向を注視し重複せず対応すべく早急に検討に入る。

**質問** 過去の反省を踏まえたプレミアム商品券の発行の考えは。

**答弁** 国県の動向を見ながら行う。

**質問** 地域公共交通支援の中で、小千谷駅のトイレ閉鎖等で市は開

いてほしいと要望したのか。

**答弁** JRとのすべての交渉課題が合意されるわけではない。

**質問** 2025年信濃川水利権更新がある。JRとコミュニケーションをとり小千谷駅のバリアフリー

化やトイレ、山寺第一踏切、ガード下道路等市民目線で解決を。

**答弁** 継続して要望していく。

## 田中 淳 議員



### 当市の将来水道料金と公共施設

#### 譲渡の際の確認について

**質問** 今回の水道料の調査による

水道料金の予測金額は平成31年に浄水場が完成し、それによる減価償却がベースとなり数値を押し上げる結果になっているのではと考

えるが、予想金額は実態に則したものとなっているのか。

**答弁** 今後近隣自治体も水道料金の値上げを行うという情報があり、

当市の水道料金が突出して高いという事ではない。

**質問** 資料によると20年後の当市の水道料金の値上がり率は全国10

番目に高いとされている。市長は当市の水道料金金額が突出しているわけでは無いというが、その根

拠、および20年後の予想金額はいくらになるのかお聞きする。

**答弁** 現段階では20年後の水道料金額は不確定要素が大きいため算定はしていない。

**質問** 茶郷川の現1号トンネルの強度測定結果は調査済と思うが

データは整っているのか強度測定方法と巻き立て厚測定を含め安全性について答弁願いたい。

**答弁** 現在の1号トンネルは、昭和54年から平成7年度にかけて大規模な補修を行っており、近年の老朽化の調査でも機能上の支障はない状態と考えている。

**質問** 供試体の圧縮強度試験値の数値は問題ないと思うが、超音波測定での空隙測定はされているのか。

**答弁** 空隙測定については調査が行われており問題はないと認識している。現在そこまでの確認はされていない。

**質問** 空隙調査のデータ確認と検査方法はどうか。

**答弁** トンネルの引継ぎについてはまだ交渉中であり、十分なデータを基に今後交渉していきたい。

## 市政の内容を聞く

## 一般質問



山賀 一雄 議員



中学校運動部活動の

地域移行対応について

**質問** 中学校の部活動は、これまで学校教育の一環であるとしていたが、この考え方をどう捉えているのか伺う。

**教育長答弁** 部活動は教育課程外ではあるが、教育的意義が大きいことから教育活動の一環として計画・実施されており、学習指導要領でも変わっていない。

**質問** 部活動によって教師と生徒との関係、学校の一体感、愛校心などの醸成に貢献してきたのではないか。また教職員が指導するので、より教育効果があると言われる。見解を伺う。

**教育長答弁** 生徒の自主的・主体的な参加により部活動を通して達成感を得られ、学校の一体感、愛校心などの醸成に貢献してきた。また学校生活と部活動を関連させ、生徒の全体像を見ながら、成長を

促すことができるという教育効果がある。

**質問** 配置されている部活動指導員による効果などの評価を伺う。

**教育長答弁** 教員の負担減はもとより、専門的な技術指導において高い効果を挙げている。

**質問** 地域移行の推進計画は、どのように策定するのか伺う。

**教育長答弁** 改革集中期間に策定することとなっているので、市教育委員会が主体となって、スポーツ協会等関係団体とで検討協議会を組織して検討を進める。

**質問** 中学校の大会は、地域移行後どのような形態になるのか伺う。

**教育長答弁** 学校単位に加えて地域クラブ単位での参加を認めるものと想定するが、中体連が関係団体と協議を進めている。

**質問** 小千谷市の総合型地域スポーツクラブは、地域移行に対応できると判断されているのか伺う。

**教育長答弁** 総合型地域スポーツクラブも運営団体の一つと受け止めるが、検討協議会で検討することとしているので、現段階での答弁は差し控える。

森本 恵理子 議員



世界錦鯉サミット、錦鯉の里を通したまちづくりについて

**質問** 11月に開催予定の世界錦鯉サミット。世界における日本の錦鯉の高付加価値化が一層加速すると見込んでおり、「錦鯉発祥の地小千谷」として、その立場を確固たるものにする最大のチャンスになると考えます。世界各国の大使等が訪れ、錦鯉だけでなく小千谷の文化や名産品をPRする絶好の機会となる世界錦鯉サミットで小千谷市が果たす役割、意義をどのように捉えているのか伺います。

**答弁** 当市がサミットの中心的な役割を果たすことは、世界へ向けて「錦鯉といえばおぢや」、そして日本を代表する魚「国魚といえど錦鯉」の定着へ大きな意義があると考えています。

**質問** 錦鯉の里の物販ブースを水族館の売店のように強化し、消費喚起に努めては。

**答弁** 他市の先進的事例も研究し、更なる販売促進に努めていきます。

ピロリ菌検査について

**質問** ピロリ菌は保菌期間が長いほど胃がん発症リスクが高まります。行政が関与できる最後のチャンスともいえる中学生のうちに検査をすることで、将来の小千谷市からピロリ菌由来の胃がんをなくすことができます。全国の自治体でも導入が増えてきた中学3年生を対象としたピロリ菌検査導入について見解を伺います。

**教育長答弁** 現段階では考えていません。

小中学校におけるデジタル連絡ツール導入について

**質問** 未だ小学校では連絡児童を介しての連絡帳での欠席連絡となつていますが、個人情報流出等が問題になっていきます。教員の働き方改革や費用対効果の面でも早急なデジタル化を進めるべきと考えますが見解を伺います。

**教育長答弁** 学校と保護者間のデジタル連絡ツールに関して、9月から使用できるよう進めています。

## 内山 博志 議員



諸物価高騰に際して

市の対応は

**質問** 諸物価高騰の原因に新型コロナウイルス、ロシアによるウクライナ侵略、アベノミクスの金融緩和策がある。30年もの長きにわたり、実質賃金が下がり続けている。ガス料金は昨年比1.21倍に上がり、食料品も軒並み高騰している。農業資材も高騰している。中小事業者も売り上げ減で苦しんでいる。年金は下げられ、物価高騰は生活保護世帯や低所得者世帯は深刻な影響を受けている。異常事態だ。臨時交付金や30億円近くある財政調整基金の活用で生活者支援、農業者、中小事業者支援をすべきではないか。

**答弁** 国の総合緊急対策で子育て世帯、一人親世帯支援を行った。生保世帯、低所得者世帯への準備を進めている。国、県の支援漏れとなり得る対象があれば速やかに

対策をする。農業者や中小事業者には国の総合緊急対策を実施する。市は、国、県の動きを注視し、支援事業が重複しないよう効果的な支援策が必要な場合対策を講じる。

介護タクシーの

安定的利用のために

**質問** 市内の介護タクシー事業者

が体制をとれなくなり介護タクシーの利用が出来なくなっている。介護保険料を払っているのに制度が利用できないのは問題だ。保険者の責任で介護タクシーの体制を早急に再構築すべきだ。

**答弁** サービス提供責任者を兼ね

ていた管理者が退職し、基準を満たさなくなったためサービスを休止している。この事で、利用者の負担が増加している。市内タクシー事業者に対し、当市が実施している介護人材確保・定着支援事業補助金の活用を促すなどサービス再開に向けた協議の継続、再開までの代替え案などを含め検討している。

## 佐藤 栄作 議員



交通安全協会と

カーブミラーについて

**質問** 交通安全協会の補助金の増

額は考えていないのか。

**答弁** 補助金の性格については、

運営費に対する補助であり、事業実施に対する補助ではなく、当該団体から提出いただいたとおり決算報告書では、単年度収支である当期経常増減額は、令和2年度3年度と黒字であることから補助金の増額は必要ではない。

**質問** 通学路の安全確認について

**教育長答弁** 毎年、通学路の危険

箇所をリストアップし、交通安全協会、道路管理者、警察、学校、PTAと教育委員会構成する通学路安全推進会議において、通学路の合同点検を実施し、通学路の安全確認を行うとともに、その対応を協議して、緊急度などを勘案しながら改善に努めております。

**質問** 運転免許自主返納の支援を

小千谷市が行う考えはないのか、また、今まで要望書は提出されていないのか。

**答弁** 運転免許自主返納者に対する支援については、返納時における個人への一時的な支援ではなく公共交通をできるだけ長く維持、

確保しているため、その費用に充てる。いわば間接的な支援をしているものであります。運転免許証の自主返納者への直接的な支援を行う考えはありません。要望書に關しては、平成25年度から30年度までの間に3団体からありました。が、それ以降、要望書は頂いておりません。

**質問** 交通安全協会の各支部が負

担するカーブミラー設置費用を小千谷市で補助できないか、カーブミラー設置依頼に対してどのくらい対応できるのか。

**答弁** 設置費用については、交通

安全協会との合意の上で交通安全協会が負担することになっており設置についての補助金は考えていません。交通安全協会から申請される現物支給の件数に対しては、関係予算で不足なく対応できる。

## 市政の内容を聞く

## 一般

## 質問

阿部 守男 議員



行政改革について

**質問** 小千谷市行政改革実施計画の取組項目に行政課題に対応する組織の構築とあるが、今の組織体制を変更するのか。

**答弁** 行政問題や社会情勢の変化に応じて組織の最適化を図ることは、常に意識すべきと考える。子ども・子育てなどに関する施策の体系が変わる可能性がある。

**質問** 人材の育成と職員の意識改革は重圧に感じるのはないか。早期退職者の無いような人材育成を図ることが重要と思うが。

**答弁** 少子高齢化を始め、SDG Sの目標達成、脱炭素社会の実現、技術革新の進行、新型コロナウイルス感染症を含む災害対応など、これまで経験したことのない課題にも柔軟に対応可能な人材の育成と職員の意識改革が求められている。地域を愛し、市民と協議しながら、熱意をもって果敢に挑戦で

きるような人材の育成に努めることを人材育成の基本方針とし、各種研修を始めとする職員の育成に取り組んできた。定年退職者を除き、職員からの辞職の申し出があった際には面談を行い、その理由を聞いてる。

学級閉鎖による

学力低下について

**質問** リモート授業の効果と検証は。

**教育長答弁** リモート授業の目的は、児童生徒の学校に通えない不安や友達と交流できない不安を取り除くこと、規則正しい生活リズムを維持し、学びを止めない。リモート授業を実施し、学びの保証ができたことで、授業の遅れはない。

**質問** 学力低下とみなされた場合の補習授業、教師への負担軽減は。

**教育長答弁** リモート授業を行った教科の中には、児童生徒の理解の状況を把握しづらいものもあり、登校してから再度補足、単元終了後に確認テストを行って理解の定着に努めている。授業時数を確保するために補習授業を実施した学校はない。

吉崎 進 議員



市長の政治姿勢について

**質問** 11月に任期満了に伴う市長選挙が行われる。市民の関心が高まっているが、大塚市長は出馬する意向はあるか無いか。

**答弁** 取り組むべき課題が残されていることを理由に周囲から続投を望む声を聞いている。出馬については慎重に判断するつもりなので、結論を申し上げるまで時間を頂戴したい。

医師不足と厚生連小千谷総合病院の今後について

**質問** 厚生連病院のある6市で構成する「地域医療連携推進協議会」の現状はどうなっているのか。

**答弁** 令和2年1月には、厚生労働省から「公的・公立医療機関等の具体的対応方針」について再検討を行うとともに、その結果を反映した具体的対応方針について、各圏域の地域医療構想調整会議で再検証を経た上で合意を得るよう

依頼されている。現在厚生連小千谷総合病院では、令和7年を見据えた自らの役割等を踏まえた機能別の病床数について、病院内において再検討していると聞いている。

**質問** 県、市が努力しても国が動かないと医師の偏在化は容易に解決しない。市長は国に対してどのような働きかけをしているのか。

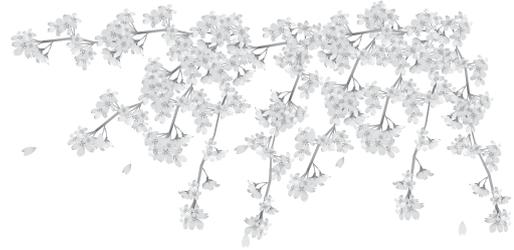
**答弁** 「地域医療対策特別委員会」において、中央省庁に対して医師の絶対数の確保及び偏在是正などについて、機会を捉えて国への要望活動を行っていく。

**質問** 今後医師の働き方改革が実施されると、当直した次の日の勤務ができなくなり、夜間の救急患者の受入れが困難となる可能性がある。また、産科医が十分にいない場合は市内でのお産に対応できなくなる可能性が出てくる。これらに対しての市長の見解は。

**答弁** 県としても救急医療体制について、医療崩壊につながらないように、国に対し地域の特徴を訴えていく。地域医療構想は、中越地域においてはこれから圏域内で議論されるところであるので、当局としては今後の動きを注視する。

〈4月〉

- 4日 広聴広報委員会
- 12日 広聴広報委員会
- 19日 議会改革推進委員会
- 21日 北信越市議会議長会  
定期総会（金沢市）



〈5月〉

- 9日 議員全員協議会  
議員クラブ会
- 12日 大分県杵築市議会行政視察  
に来市
- 18日 魚沼市議会行政視察に来市
- 25日 議会改革推進委員会  
全国市議会議長会  
定期総会（東京都）
- 26日 議員協議会
- 27日 議会運営委員会



〈6月〉

- 3日 第2回定例会（本会議）  
広聴広報委員会
- 6日 常任委員会連合審査会
- 7日 総務文教委員会
- 14日 議会改革推進委員会
- 21日 議会運営委員会  
本会議（第2日）
- 22日 本会議（第3日）  
広聴広報委員会  
議会運営委員会  
本会議（第4日）
- 24日 本会議（第4日）
- 29日 大分県豊後高田市議会  
行政視察に来市



## 本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。  
本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。

市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しています。  
スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。

また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。

（令和4年第2回定例会の会議録掲載は、8月末頃となります。）



URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

# 市議会だよりをアプリで配信中



スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。最新号を発行日にお届けします。ぜひご利用ください。

Android用



iPhone用



定年から早くも17年が過ぎようとしている。町内役員をはじめ、定年と同時に福祉会長として10年、白寿会会長として5年、微力ながら今も役員を務めている。

私の趣味は家庭菜園であり、始めてから早くも20年余りが経ちました。「育てて楽しむ」と「収穫して味わう」ことが主体となります。店頭に出回っていない採れたての小野菜（大根のうるぬぎ菜等）や少量の新鮮な野菜が味わえます。減農薬栽培も目に見える形でできます。（無農薬と書きたいところですが、甘くはない。）

今までは自己流で試行錯誤の栽培をしてきましたが思うようにいきませんでした。しかし昨年から大きくその姿勢が変わりました。



阿部 久雄  
種生南団地



それは新しいスマホに買い替え、ユーチューブで冬の農閑期に有名な先生方から本格的な栽培方法やコツを動画で学び、丁寧な解説でノート一冊が埋まるほどの情報を得て、栽培に活用しています。

また、私には福祉会の運営委員以来の気の合う仲間がいます。季節ごとに神社仏閣巡りや開花情報を収集して小旅行をしたり、カラオケに行ったりと忙しく日常をエンジョイしています。

そして今、その仲間の一人（94歳男性）と連れ立って、サンラックの「男の料理教室」に参加しています。会員も数十名と盛況な教室です。担任の先生も若い女性で料理教室の雰囲気も優しく明るく賑やかです。色々な職業人や得意技を持った個性的な会員達。最初はエプロンに三角巾という姿に違和感を持ちながらも和洋中と季節や行事に合う料理を習い、材料の切り方、味付け、火加減など難しいことばかり。未だに餃子を包むのができず残念！

みんなで仲良く賑やかに作り、後の食事はいつも笑顔で美味しくいただいています。何よりも健康第一主義、断捨離で身軽に。

「シルバー万歳！100歳時代」

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため2年連続で中止した「おぢやまつり」「片貝まつり」を、令和4年度は開催されること発表になりました。

しかし、今定例会においても4回目のワクチン接種に対する補正予算審議であったり、感染症対策関連の審議が多く見受けられ、まだまだ感染症対策は過去のものではない事を実感しています。すっかりマスクをした生活が当たり前になってしまっておりませんが、これから暑い季節を迎え、熱中症対策もしながら一人ひとりが考えながら最善の過ごし方をしていくことが大切と考えます。

7月27日は第9回小千谷リビングラボ「at！おぢや」が開催されます。毎回参加して思うのは、若い方々の小千谷を想う気持ちの熱さです。閉会後いつもとても嬉しく頼もしく感じながら、もっともっと自分も頑張らなきゃと感じながら帰路につきます。

「世代を超えてみんなでまちを創造する。」今回も楽しみます。

編集委員 平澤 智